

実践者の声が、 あなたのヒントになる

近畿2府4県のESDや環境学習を推進するため、新学習指導要領で重要視される「学校と地域が連携したESD実践」に着目し、その実践事例を共有する場です。学校現場の教員や教育行政関係者が知りたい「地域連携の具体的なステップ」や、直面する「ESD実践上の課題」を乗り越えるヒントが見つかります。世代や分野を超えた出会いから新たな協働が生まれ、日々の活動の悩みを共有しながら、明日からの実践につながる学びの場として、ぜひご活用ください。

日時

2026年2月1日 | 日 | 10:00 ~ 16:00 (開場 9:30)

会場

OMMビル2階 204・205 会議室 (大阪市中央区大手前1丁目7-31)

京阪電車「天満橋」駅東口、Osaka Metro 谷町線「天満橋」駅北改札口から
OMM地下2階に連絡

定員

70名 (申し込み先着順)

※事例紹介のみオンライン配信あり
オンライン参加に定員はありません

参加費

無料

対話から生まれる地域のあした

— 学文路から始まる地域連携と橋本市「共育コミュニティ」 —

和歌山県橋本市立学文路小学校において実践した、学校と地域との連携について、事例紹介やパネルディスカッションを行います。地域との連携に悩む先生方、教育行政関係者にとって、具体的な実践から学べるヒントが満載です。

和歌山

林克美氏 (橋本市立学文路小学校 校長)

弓場大樹氏 (橋本市教育委員会生涯学習課 兼 学校教育課)

多様な ESD 実践者による事例発表

兵庫

山端和美氏・山端葵子氏 (アカハライモリ研究者)

和美さん(母)から、幼少期から自然環境に触れさせたことが環境教育につながったこと、葵子さん(娘)からは、イモリへの興味が生態系・環境問題への関心につながったことを発表します。

奈良

橋元美穂氏 (木育サポートネット代表)

教育委員会と連携し、吉野町・橿原市の小中学校のカリキュラムに木育を組み込んだ実践を展開。吉野杉・吉野檜を使ったものづくり授業を通じて、子どもたちが地域の森林資源と環境保全について継続的に学ぶ環境教育の取組を紹介します。

京都

浦哲治氏 (京都市環境政策局環境企画部環境総務課 担当課長)

京都市では、「こどもエコライフチャレンジ」(環境学習プログラム)や、「地域生きもの探偵団」などで小学校と連携した事業を実施しています。環境行政に携わる職員が何を考えているかをお伝えします。



学びあいプロジェクトの様子



橋元美穂氏製作の木製玩具



山端葵子氏

ESD実践者による事例紹介

主催

近畿地方 ESD 活動支援センター、環境省近畿地方環境事務所

後援

滋賀県教育委員会、京都府教育委員会、大阪府教育委員会(予定)、
兵庫県教育委員会、奈良県教育委員会、和歌山県教育委員会

プログラム

(※プログラムは変更になる場合がございます)

近畿地方 ESD 推進ネットワーク
地域フォーラム 2025



10:00 開会

10:05 2025 年度学びあいプロジェクトについて

近畿 ESD センターでは、2023 年度からの 2 年間で、学校と地域が連携した ESD の実践をテーマに学びあいプロジェクトを実施してきました。これまでの学びあいプロジェクトで培った知見や成果を活かし、今年度は和歌山県橋本市立学文路小学校において実践したことを報告します。

10:10 第1部

対話から生まれる地域のあした

— 学文路から始まる地域連携と橋本市「共育コミュニティ」—

学文路小学校は、橋本市の「共育コミュニティ」を活用して地域と連携した ESD を実践しています。地域住民、教員、児童を交えた対話を重ね、みんなの主体性を引き出しながら地域の未来を描いています。今年度から始まった学文路の挑戦から地域と連携した ESD 実践のポイントを学べます。

事例紹介者・パネラー

- ・弓場大樹氏（橋本市教育委員会生涯学習課 兼 学校教育課）
「橋本市の地域と学校の連携」
- ・林克美氏（橋本市立学文路小学校 校長）
「学校と地域が共に描く学文路のあした」

パネラー

- ・長友恒人氏（奈良教育大学 名誉教授）

コーディネーター

- ・河野晋也氏（奈良教育大学 ESD・SDGs センター 准教授）



11:40 令和7年度 環境教育・ESD 実践動画 100 選受賞団体のご紹介

12:00 昼休憩

※第1部と2部では事例発表やディスカッションの内容を文字やイラストを使ってリアルタイムに記録します。

グラフィッカー：外崎由実氏

13:00 第2部

多様な ESD 実践者による事例発表

近畿の ESD 実践者が一堂に集結！自然体験を通じた家庭内 ESD を実践する山端和美氏と中学生研究者の葵子氏、木育で地域資源の価値を再発見する橋元美穂氏、そして環境専門職として環境教育を推進する京都市の浦哲治氏。ピッチ形式で多様な事例を共有し、対話を通じて新たな視点と学びを得られる貴重な機会です。教育、行政、家庭というそれぞれの立場から、持続可能な社会づくりのヒントを見つけましょう！

事例紹介者

- 兵庫 山端和美氏・山端葵子氏（アカハライモリ研究者）
「幼少期の環境教育」／「アカハライモリと地域の環境デザイン」
- 奈良 橋元美穂氏（木育サポートネット代表）
「木育を通じた環境教育と小中学校との連携」
- 京都 浦哲治氏（京都市環境政策局環境企画部環境総務課 担当課長）
「京都市の環境学習に関する施策とそこに携わる行政職員の想い」



「こどもエコライフチャレンジ」

14:30 交流ディスカッション

事例発表者を少人数のグループに分けて、意見交換を行います。各グループでは意見交換の話題を設定し、学校や地域などにおける ESD の実践やこれから取り組みたい実践について共有。それぞれの知見や課題感などについて率直に意見交換を行います。

15:45 総括 長友恒人氏（奈良教育大学 名誉教授）

16:00 閉会

申込

下記 URL、右記申込フォームまたは、
問合せメールアドレスより
お名前、ご所属を明記の上
地域フォーラム参加の旨をご連絡ください。
(申込締切：1/27 | 火 |)
<https://forms.gle/G8FJ8zVcFRGYWjPo7>



問合せ

近畿地方 ESD 活動支援センター
(担当：中川)
E-mail：office@kinki-esdcenter.jp
TEL：06-6948-5866